

「21世紀型の福祉事業「互恵互助」社会を目指して」

社会福祉法人こうほうえん 地域総合支援室 田山泰久

1. 問題提起

社会福祉法人は事業そのものが社会奉仕活動として評価された時代から、公益性がありながらも事業性に乏しい不採算事業をいかに地域貢献ととらえて実施しているかが問われる時代となった。わたくしたち「こうほうえん」は地域とともにお互いが助け合い、お互いが幸せを分かち合う「互恵互助」の精神を法人の価値として「互恵互助」社会を目指し、地域社会の新たなニーズに応えるべく、地域の皆様とともに21世紀型の福祉事業に取り組みたい。

2. 目的

「互恵互助」の理念を掲げ、21世紀型の福祉事業を実施することで「互恵互助」社会の実現を目指す。

- ①各地域の「こうほうえん」を中心としたセーフティネットの構築
- ②実施事業（下記「3. 方法」参照）
- ③福祉に関する総合相談窓口の設置

3. 方法：アウトリーチ（訪問支援）と併走型支援

（1）総合相談事業の実施

- ・可能な限り早期の相談受付と専門機関の紹介を旨とし支援受入れ窓口として機能
- ・対象者負担軽減と利便性を図るため、相談がワンストップ（1カ所）で行えるよう配慮
- ・専門機関、専門家の確保と調整
- ・NPO法人など他団体からの相談依頼受入れ
- ・各自治体の生活困窮者自立支援制度総合相談窓口との連携
- ・ホームページ活用による窓口検索受入れ
- ・被支援者からの要支援者紹介受入れ

（2）総合支援事業の実施

①就労支援

- ・就労の安定を目指し事業所への啓もうやマッチング、事業所内業務の開拓などの支援
- ・引きこもり予防とともにさまざまな社会資源を活用しながら就労に結び付ける
- ・貧困・格差や刑余者再犯の連鎖を断ち切るための支援
- ・就労支援事業者やハローワークとの連携による雇用の推進
- ・特別支援学校からの就労促進

②学習支援

- ・貧困・格差の是正を目的とした自立支援
- ・島根大学教育学部教育支援センターとの連携
- ・教育委員会並びに各学校との連携

③生活支援

- ・専門機関などを活用したネットワークにより生活全般の支援と助言
- ・視覚障がい者並びに視覚障がい者ガイドヘルパーの講習会開催
- ・社会福祉法人鳥取県ライトハウス点字図書館との連携

④触法者支援

- ・法務省鳥取保護観察所：平成26年に協力雇用主登録
- ・法務省松江保護観察所：平成27年に協力雇用主登録
- ・鳥取県地域生活定着支援センターとの連携
- ・更生保護法人鳥取県更生保護施設給産会との連携
- ・刑務所への認知症対策や出所後の日常生活について提案

⑤移住者支援

- ・転入転出に当たっての支援
- ・県外支援機関からの依頼による支援

⑥ひきこもり支援

- ・ひきこもり世帯への支援
- ・短時間でのネットワーク作り
- ・NPO法人との連携

⑦犯罪被害者支援

- ・関係機関からの依頼による支援
- ・とっとり被害者支援センターやNPO法人との連携

4. 成果・課題（2016年12月31日現在）

(1)総合相談事業 延べ 32件

【成果】・協力機関、団体、個人合せて約220件

【課題】・民間であるためか信頼関係の構築に時間がかかる
・身元保証人の確保

(2)総合支援事業 延べ 90件

①就労支援 14件

【成果】・14名のうち、就労に結びつい新規障がい者6名

【課題】・障害者手帳などを持たない方に対する支援活動

②学習支援 67件

【成果】・学習習慣を培ってもらうため対象を中学3年から小学生にも拡大

- ・小学生参加に加え、学童保育児童の参加
- ・毎週、県内延べ6か所で開催

【課題】・毎年中学3年生に行う「点」の支援から進学後も継続する「線」の支援への転換

- ・事業の拡大に伴い担当職員と児童生徒学生との人間関係が希薄になった
- ・大学生の大量募集により質の低下を招いた

③生活支援 4件

【成果】・ネットワークによる支援3件

【課題】・プライバシーへの干渉をどこまで進められるか

④触法者支援 1件

【成果】・刑務所出所者等就労支援協議会参加によるネットワーク形成

- ・刑務所内の高齢化並びに再犯率の実態把握

【課題】・個人情報開示の範囲

- ・刑期満了の少ない支援機関

⑤移住者支援 2件

【成果】・県外機関からの要請

【課題】・休暇を利用しての活動を支えるためには365日の対応が必要

⑥ひきこもり支援 1件

【成果】・支援団体への引き継ぎ

【課題】・支援方法の多様性

⑦犯罪被害者支援 1件

【成果】・被害者支援団体との連携

・24時間対応による信頼関係の構築

・多くの支援機関とかかわることによる重層的支援への参加

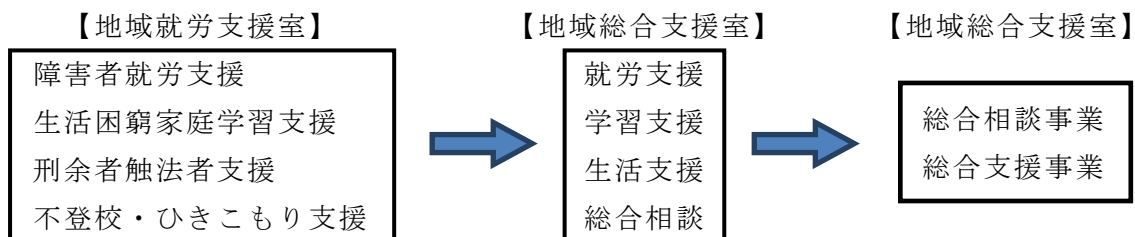
【課題】・心的外傷などによる精神不安との担当者の向き合い方

・長期化する24時間対応への対策

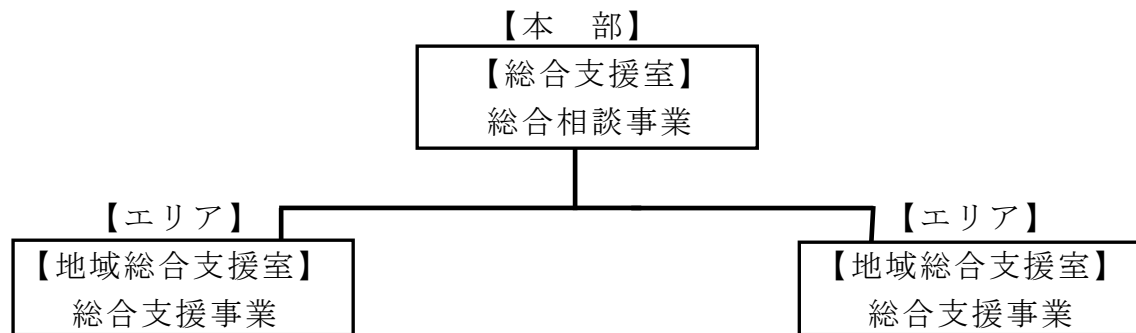
・ネットワーク構築にあたっての個人情報開示の範囲

5. 展 望

- ・えんくるり事業(生計困難者に対する相談支援事業)への参加によるネットワーク構築
単体では困難な広域ネットワークを「えんくるり事業」で極めて短期間での構築を目指す
- ・求められる支援だけでなく「生活の質」を向上させるには何が必要かを提案すること
- ・アウトリーチと重層的支援ネットワークによる多面的アプローチ



- ・法人本部による中央からの活動でなく、幸朋苑が立地しているその地域での活動を重視



- ・「互恵互助」による地域包括ケアの視点から対象者個人やそのご家族はもとより、その地域を視野に入れた総合支援の実施を目指したい

参考文献：「ばっちゃん」人生は必ずやり直せる非行少年を支える82歳きずなと再生

NHK「NHKスペシャル」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2017.1

：「えんくるり事業」鳥取県社会福祉協議会

鳥取県社会福祉協議会「生計困難者に対する相談支援事業」説明会資料 2016.12

：「生活困窮者セスキュー事業」大阪府社会福祉協議会・・・・・・・・・・2016.11

：「子育て支援の経済効果」BSフジ「プライムニュース」・・・・・・・・・・2016.11

- : 「子育て支援の経済効果」 柴田 悠(京都大学準教授) 読売新聞・・・・・・・・ 2016.10
- : 「アウトリーチと重層的な支援ネットワークを活用した多面的アプローチ」
～社会的孤立・排除を生まない総合的な支援体制の確立に向けて～
谷口仁史(NPOスチューデント・サポート・フェイス)・・・・・・・・ 2016.10
鳥取県社会福祉協議会「生活困窮者自立支援セミナー」資料
- : 「香川思いやりネットワーク事業」香川県社会福祉協議会
鳥取県社会福祉協議会先進地視察資料・・・・・・・・ 2016.7
- : 「地域公益活動実践ガイドブック」湯川智美監修 第一法規・・・・・・・・ 2016.6
- : 「沈む社会への挑戦」～21世紀型社会福祉法人の使命と役割～
波竹の会 酒井喜正(社会福祉法人聖徳園)監修・・・・・・・・ 2016.4
- : 「地域とつながる集合住宅団地の支え合い」
児玉善郎(日本福祉大学社会福祉学部教授)監修
NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター・・・・・・・・ 2016
- : 「しまね流自治会区福祉活動展開マニュアル」島根県社会福祉協議会・・・・・・・・ 2016
- : 「寄り添うのは、傷だらけの希望」子ども・若者訪問支援・谷口仁史
NHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」・・・・・・・・ 2015.8